

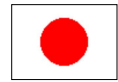


令和7年 2月号

発行所
生長の家 長野県教化部
〒390-0862
松本市宮沢3-7-35

発行人
生長の家 長野県教化部
代表 野沢貴広
編集人 小松一教
(1部 40円)

Tel(代) 0263-34-2627
FAX 0263-34-2626
白鳩会 0263-34-2625



祝日には
国旗を掲げて
奉祝しましょう!



あなたの愛で
自然を守ろう
大自然の恩恵に
感謝しましょう

今年も開催します！ 青年のためのネットフォーラム



教化部長 野沢 貴広

例年、一月下旬に運動方針徹底の為の会議を開催していましたが今年も三月二十三日に開催します。信徒の皆さんの中には「今年も運動方針徹底の為の会議を開催しないのではないかと？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、これには大きな理由があります。昨今、他宗教団体による「資金集め」に偏った活動や、かつては教化部のある松本市におきまして「松本サリン事件」が起きたことにより、社会全体で宗教団体の見方が変わってきてきました。そこで昨年からは「生長の家」では「布教・環境方針」を公表した様に、運動の透明性と信頼性を高めるための運動となり、「数から質へ」と運動の方向性が転換

されることになりました。今までは聖使命会員と普及購読者の拡大の「二つの運動項目」を掲げて活動していましたが、これからは地球社会貢献の活動によって、私たちの暮らす信州の光明化に努めながら、壮年層や若い世代の「新人」が参加しやすいPDSのミニイベントを開催して人々との信頼関係を築いていきます。そして生長の家に興味を持たれた方々に、白鳩会・相愛会・青年会・栄える会・生教会の会員の皆さんが傾聴活動や人生相談などのお世話活動を親身になって行っていくのです。詳しくは今月(二月)、発行される予定の『地域組織の活動の手引き』に則って行います。その手引きに従って教区運

動方針を決定していくため、一月では間に合わなくなり、運動方針徹底の為の会議が三月に開催されることになったのです。先ずは皆さん、二〇二三年に発行された『PDS活動の手引き』を熟読して新しい運動に備えていきたいと思います。

また、今年度の運動に取り組むためにも昨年度を振り返る必要があります。特に昨年度は「青少年育成会議を復活する。そして青年誌友会と中高生誌友会の復活を図る」という方針を掲げました。令和元年までは教区主催で、白・相・青・生教会の代表者と青少年育成会議を毎月開催してまいりました。この会議によって青年誌友会や青少年一日見真会の企画と運営の打ち合わせをして開催してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の発生など諸事情で会議は開催されなくなり、青年誌友会も消滅し青少年一日見真会も参加者がゼロという時もありました。そこで、先ずは「青少年育成

会議」を復活することにしたのです。

御蔭様で、「青少年育成会議」は毎月開催することができました。会議の中で計画された「青年のためのネットフォーラム」も隔月で開催という計画を立て、ほぼ隔月で六回開催することができました。青年層の参加者は二十八名(延べ人数)に上り平均四・七名の参加がありました。これは嬉しい誤算で、「長野教区には青年層の対象者がいない」と言われ続けていたが、会員の皆様のお子さんやお孫さんが参加して下さいました。多いときには青年層参加者が十名もいたのです。とてもありがたかったです。

その青年層の方達を対象に青年誌友会や中高生誌友会やミニイベントを開催しようという計画を立てていましたが、残念ながら開催できませんでした。一番の理由は参加された方々は「耳だけ参加」がほとんどでカメラをオンにして顔を映した

り、マイクをオンにして発言するところまではいきませんでした。直接お会いするまでの関係性を深めることができなかったのです。

以上のことから、今年度は「青少年育成会議」と「青年のためのネットフォーラム」を引き続き開催します。そして「青年のためのネットフォーラム」の常連の皆さんとリアルに対面する青年誌友会やミニイベントを開催できたらと思っております。開催の際は「青年のためのネットフォーラム」に会員の皆様のお子さんやお孫さんに参加促進していただいた様に「青年誌友会に参加してみたい」とお声をかけていただきたいと思います。昨年ネットフォーラムの様に予想外に参加して下さる人が現れるかもしれません。その機会(チャンス)を増やして行く予定です。

若い世代は未来の希望です。そして後継者は宝です。希望を持って新しい運動に邁進しましょう。

相愛会

現象顕現の法則

長野相愛会

T・S



生長の家の『聖經 真理の吟唱』の「新しき天地に生まれる祈り」に、「釈尊の説かれたごとく、この世界はことごとく自分の心の展開であるから、自分の心が生まれ変わることは自分の環境が一変し、自分の生活が一変し、自分の肉体の健康が一変することを意味するのである。われわれが心に強く描いてそれを見つめるところのものが、現象界に現れてくるのである。これが、現象顕現の法則である。」と説かれています。

九月二日(月)に微熱が三十七度あり、食事がのどをほとんど通らなくなってきたので、「これはおかしい」と思い、かかりつけの耳鼻咽喉科クリニックに行つたところ「新型コロナウイルスです」と言われびっくり。まさか、まさか、自分がコロナになるとは、夢にも思

わず、唾然としてしまいました。そこから治療が始まりました。耳が聞こえなくなつたこと、「細菌の感染を抑える薬」での治療、「耳の聞こえがよくなるツボの押え方」を自身でやつてみたこと、「難聴・聞き取りをよくするCDブック」を実践したこと等いろいろやつて見たが効果なし。

最終的には「麻酔を打つて鼓膜に穴をあけて、水を除去」という手術を医師にやつてもらい、これが、効果てき面で、一発で以前の聴力に戻つてしまいました。今回は、「何とか以前のように聞こえるようになりた」という思いで、いっばいでした。これが上記の「現象顕現の法則」だったのだと思ひ、あらためて生長の家の教えに感謝を致したところでした。

合掌ありがとうございます。二十年程前に、当時の生命学園長に生命学園を手伝つて欲しいと頼まれました。娘達が生命学園前身の神の子学園でお世話になったので、お礼に手伝いをするこ

とにしました。

数回お手伝いをした頃、東京第二教区の一泊二日の研修会に誘われたので参加しました。二日目の朝の神想観の時、お香の高貴な薫りがしたので、「この会は唯の会ではない。神様主催の神聖な会だ」と真剣に思いました。後で聞いたら当時の園長は薫りは分からなかつたと仰つたので、私は特別なご縁を感じ、生命学園に携わつて真理を学ぼうと決心しました。

神の生命が宿っている神の子さんは、一人一人違う個性を持っていて頼もしく、将来が楽しみです。個性が

白鳩会

生命学園と私

白鳩会松本地区連

手塚香おる



光つた時、自信に繋がるように拍手をし、褒め称えます。反応も様々で微笑ましいです。そんな神の子の皆さんには『神の子無能力』を信じて、これから先の色々なことを乗り越えて行つて幸せな人生を送つてほしいと願っています。

今では、沢山の方々協力して頂いて、神の子さんと一緒に楽しく学んでいます。お香のご縁に感謝しています。

再拝

地方講師研修会〔ネットフォーラム〕

2月26日(水) 13時~15時

ご指導 野沢貴広教化部長

会場 教化部

※詳細は、地方講師会報「ひまわり」をご覧ください。

神。自然。人間の

大調和祈念祭

3月11日(火) 10時~11時5分頃

教化部の大講堂で映像・音声を視聴します。

『大自然讃歌』をお持ちください。

祈念祭の映像配信は、国際本部からの

インターネットによる同時配信です。

講師会

神の子無量力!

地方講師 鎌 絹代

合掌ありがとうございます。私は主人と健康の為に、諏訪湖の湖岸を日々歩いていきます。諏訪湖に出る迄は横河川に沿って、川の流れの音を聞き、また土手の桜並木の四季を眺めながら歩きます。湖岸では八ヶ岳を眺め、遠く富士山を望む事もできます。このような自然環境に恵まれて歩くことの感動を頂いています。

ところが、この日課の歩行で思わぬ失態をしてしまいました。家を出る時は、バックに小袋に入れた家の鍵と、暑さ寒さ用に少しの衣類も入れて持参します。失態当日、家に戻れてやれやれと一息ついた時、鍵を探しても見当たらないのです。「なぜ無いの?どこで落としたんだろう!」混乱状態。ようやく平静になって振り返って考えてみると、

折り返しの少し手前あたりで着替えする為に、バックから衣類を出した事に行きつきました。「多分その時に鍵の小袋が落ちたかも」二人の考えは一致しました。「ともかく急いで探そう」私の責任だ、何とかしないと、その一念で今戻って来た道を走るような勢いで引き返しました。歩きながら、「実相円満完全」「既に見つかりました。ありがとうございます」「私は神の子無量力」思いつく良い言葉を祈るような気持ちで一心不乱で唱えました。現地に到着して当たりを探していると、道から外れた草むらの中に小袋が落ちていました。「有った有った良かった。他人に拾われなくて良かった。草むらの中だったのが良かったかもしれない」遅れてきた主人に「鍵があつたよ」と言ったら主人も安心しながら「それにしても早かったね。疲れなかったの」と聞かれたけど「それどころではなかったから」と返しました。「いざとなると人間には不思議な力が出るもんだね」と主人が言うのを聞きながら、一心不乱になるとそれ以外の事が気持ちの中にも存在しない、そんな状態だったかもしれない。帰りの道では、今回の反省や以後の事など、出来事から得た事を話しながら、二日分の日課をこなし、家に戻りました。今は、主人が予備の鍵を持つての日々です。

日時計主義の生き方を改めて再確認させて頂き、実生活に生かさせて頂こうと思っています。



再拝

奉納御礼

- | | | |
|---------|-----|--------|
| お菓子 | 1箱 | 本山 茂子 |
| リンゴジュース | 1本 | 野々口今日子 |
| お菓子 | 1箱 | 太田喜榮子 |
| お菓子 | 1箱 | 小澤 俊治 |
| お菓子 | 1箱 | 白鳥 美代 |
| お菓子 | 1箱 | 豊田 弘美 |
| ピザパン | 24個 | 塚原 春奈 |
- (敬称略)

奉納金 (大晦大祓式)

- 小松 智子 大日方好子
(敬称略)

**生長の家主教九十六年春季記念日
生長の家総裁法燈継承記念式典**
令和七年三月一日(土) 森の中のオフィス

**※当日は、森の中のオフィスに
参加列します。ご希望の方は、
教化部へお問い合わせください。**

尚、10時〜映像はインターネットでも同時配信されます。

10時開式

「『生長の家』出現の精神とその事業」奉読

生長の家白鳩会総裁 谷口純子先生

お言葉

生長の家総裁 谷口雅宣先生

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜	
19時(相)拡大役員会	休館日	13時(講)研修会	休館日	【振替休日】	休館日	13時 責任役員会・評議員会	20時 青年のためのネットフォーラム	休館日	休館日	休館日	休館日	10時 運動方針作成会議 13時(自)正副会議	13時半 栄える会合同NF	19時(相)顧問会議	休館日	13時半 青少年育成会議	10時 建国記念の日祝賀式 14時(講)正副会議	10時 職員会議	10時半 先祖供養 13時 六者会議	休館日	休館日	休館日	16時(送)役員会	休館日	休館日	休館日	10時 生教会正副会議	13時半 聖使命会感謝奉納祭	2月行事予定

ご奉納に感謝を申し上げます。
ご奉納下さった方々を掲載いたします。

教化部鏡餅ご奉納御礼

小澤 俊治	渡邊 正明	大山 麻江
手塚 千治	清水 功三	青木 忠造
豊田 弘美	手塚 真弓	小田 節子
本山 茂子	小林 博美	土屋 好正
西嶋 融	小林 直恵	塚原 好男
松井淳一郎	小口 壽子	塚原 春奈
村田 雪子	小林智恵子	工藤 洋
富井まり子	北沢 秀子	橋詰 恒子
富井とし子	丸山 春江	石田美耶子

教化部 早朝行事 (オンライン)
スマートフォンから入れます。

神想観	聖経読誦
1日(土) 教化部長	小松 智子
2日(日) 塚原 好男	小椋 博子
8日(土) 小泉 房子	小口 壽子
9日(日) 手塚 千治	小松 一教
15日(土) 教化部長	鈴木 厚子
16日(日) 大和 光男	北原かおり
22日(土) 栗林 邦子	斉藤 洋子
23日(日) 小澤 俊治	手塚香おる

※開催時間は6時からです
ラインで配信しています。参加希望の方は教化部までご連絡下さい。

聖経読誦：『聖使命菩薩讚偈』
『万物調和六章経』
『観世音菩薩讚歌』

岸川 和江	白鳥 美代
小林 徳子	中村きくみ
岡沢 和子	宮澤 宣子
栗林 邦子	倉田すみゑ
大原 綾子	小池 雅子
中村 由美	齊藤 洋子
等々力逸恵	篠原 静子
塚原 静子	酒井美保子
小林 正幸	齊藤 一生
北原 理恵	下田 禮子
大和 光男	平島かつ枝
大和千恵子	長谷尾美眞貴
久保てる子	竹内 本子
鈴木 厚子	小松 一教
征矢 一正	折橋 政市
小泉 堅基	関崎三重子
小泉 房子	小松 智子
玉井 紀子	小松 雅子
松原登美子	奥原 愛美
川久保満喜子	折橋 操子
和田 栄子	白井 貴子
佐藤 節子	田中 弥生
近藤みどり	鎌 絹代
南 延子	西 信枝
木下 倭子	宮原 重美
宮島 靖夫	野沢 貴広
小野 寛熙	
猪俣 知子	
黒岩 恵子	
石井希世子	※日付順 (敬称略)